



No.34 2012. 4

news

BIZ 島田節子

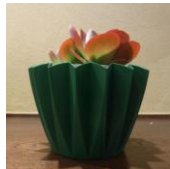
400-0032 甲府市中央2-9-12

TEL/FAX 055-227-5927

biz@setuko.jp <http://www.setuko.jp>

<今の時代のジュエリー>

とは一体何だろう。今を生きる女性が爽やかに輝くのはどんなことだろう、と良く考える。震災前もその後も。理由はふたつ。自分の内側からの理由と社会という外側の問題。BIZのスタイル、島田節子の軸は変わらない。しかし何か変わりたいという自分がずっと前からいる。そのスタイルも序々にではあるが鮮明になりつつある。そして外側からの問題。ここ何年かの間に変化している社会の雰囲気のようなものとファッションの傾向を思うと今のままでは違ったことになる。置かれた環境のなか、明るく颯爽と生きる女性を演出したい。



春の息吹が待ち遠しくて集まった花たち

<Before & After>

この仕事を始める遥か前“自分が生きることの意味”が解らず訳の解らない不満を友人にぶつけていた時期がある。相手は日蓮宗の坊さん。しばらくそんなことが続いてふと心にかかる言葉がいくつかあった。有り難いお言葉を頂いたのでもない。べらんめえの言葉がぼんぼん帰ってくるだけ。気がつくとも不満も、もやもやした苦しみもなくなりただ感謝だけが残った。(それは彼への感謝ではない。今ある全てのものへ) 小人の私、パタリと電話をしなくなった。以来、辛い苦しいと感じることもなく物事を受け止め、有り難く仕事をさせて頂いている。(世界の平和の為に日夜励んでいるのでもなくたかが自分の仕事。いやならやめればいい。) そして最近“その自分を超越する”ことについて考えているがこれもまた解らない。それが解れば当初の“自分の意味”も解ってくるのではと思う。それにしてもその友人には深く感謝しつつもそれを伝えていない。そのほうが先だろう。

<おかげさまで>

近所の八百屋さんに‘えっ、あの大根もう食べちゃったの?’と驚かれる位大根をよく食す。池波正太郎の小説を元につくる“浅利と大根の小鍋仕立”はもはや冬の定番。新たに加わったのが“大根とカリカリじゃこのサラダ”。千切り大根とから炒りしたじゃことワカメ、時には胡桃のみじん切りも加えて。日頃肉類、オイリーなものをあまり食さないで胡桃、胡麻は度々登場する。春も近づくこの頃、露のとうを加えた大根おろしは眼にも身体にも爽やかな風が通る心地。どれも大量に馬の餌ほどに食べても胃に来ない。おかげさまでこのところ胃腸の謀反はない。



<冬の宵 Wine Party>



仕事仲間、友人、お客様。ごちゃまぜメンバーで楽しく歓談。琵琶の演奏も再登場。厳しい寒さも吹っ飛んじやいました。

<美人は得か>

トクではありません、というのが私の意見。ハナタレ小僧の頃から人の心はカオに出る。ましてや成長した顔はごまかしようがない。負け惜しみかも。しかし、日頃私がよく言うこと。“男も女もゴミの山より緑の丘”ムジュンしてる？

<厳しい冬を乗り越え花咲いた新作ジュエリー>



～always joyful～
ブローチ
パロックパール
エメラルド ルビー
K18YG



～炎の首飾り～
ネックレス
ファイアオパール
K18YG

～春の新作 甲府展～

4/16 (月) ～22 (日) 10:00～18:00 ギャラリーBIZ